

第1回 国際シンポジウム講演会2014開催報告

教育グループでは、わが国の建設・インフラ関連産業が海外市場において活躍の場を広げ、世界市場で大きな存在意義を発揮していけるよう、人材のグローバル化に対する支援活動の一環として、国際シンポジウム講演会を開催しました。日本で活躍されている海外の企業の方、海外で活躍されている日本の企業の方にそれぞれの企業の活動、あるいは建設産業の海外進出についての考え方をご講演頂きました。当日は建設産業に携わる産官学より計78名の参加がありました。



講演会の様子（宮崎氏）

講演会の第1部では日本で活躍されている海外の企業からの講演として、オーバーシーズ・バクテル・インコーポレーテッド社日本支社長の宮崎氏にご講演頂きました。海外展開が進んでいるといわれる欧米企業の事例と日本企業の現状を比較した上での今後の海外進出手法、また日本の技術者に求められる能力についてのお話があり、その後の質疑を含め活発な意見交換がなされました。

また第2部では海外で活躍されている日本の企業からの講演として、日揮株式会社エンジニアリング本部本部長代理の松岡様にご講演頂きました。時代の流れと会社の歴史をリンクさせ、時代の流れに沿ってどのように海外展開を図っていったか、またその時々はどういった志し・課題を持って進んできたかといったお話があり、具体例を交えた講演内容に海外進出を目指す企業に属する聴講者の皆様は熱心に聞き入っていました。



講演会の様子（松岡氏）

本講演会は3回シリーズとして企画されており、今回はその第1段でした。第2回は3月17日（月）、AMEC社より Nawal K. Prinja 氏、AECOM社より 榮枝 秀樹 氏を招いて開催いたしました。（国際センター通信第19号にて報告予定）第3回は4月22日（火）を予定しています。教育グループではこのような取り組みが、日本の企業で海外に進出を考えている方々の一助になるのではと考えております。

【記 国際センター教育 Gr. リーダー 納多 勝】